

第5次狭山市総合計画策定に向けた市民ワークショップ

# わたしたちの狭山 未来トーク

## 実施報告書

令和6年9月

狭山市

# 目次

■ はじめに .....	1
■ 市民ワークショップ 全体概要 .....	2
■ 第1回市民ワークショップ 開催概要 .....	3
ワークショップ結果（グループ1～6） .....	4
■ 第2回市民ワークショップ 開催概要 .....	11
ワークショップ結果（グループ1～6） .....	12
■ 第3回市民ワークショップ 開催概要 .....	19
ワークショップ結果（グループ1～6） .....	20
■ 第4回市民ワークショップ 開催概要 .....	27
ワークショップ結果（グループ1～6） .....	28
ワークショップ結果（グループ7～12） .....	34
■ 資料 .....	40

## はじめに

本市では、令和8年から10年間のまちづくりにおいて、目指すべき将来像と、その実現に向けた総合的かつ計画的に実施する施策や事業の体系と内容を示す第5次狭山市総合計画の策定にあたり、市民の意見を広く聴取することを目的に「第5次狭山市総合計画策定に向けた市民ワークショップ『わたしたちの狭山 未来トーク』」を開催しました。

この市民ワークショップは、開催回ごとにテーマを変更して「10年後の理想の姿」と「わかりやすい総合計画の在り方」を提言するものとし、各回で共有された提言を最終的に「報告書」としてまとめました。

市民ワークショップは全4回の開催をもって活動を終了しましたが、参加市民42名が本市への熱い想いをもちながら、限られた時間のなかで前向きに話し合いを行った結果であるこの報告書については、これから本市で作業を進めていく第5次狭山市総合計画の基本構想の策定、及び、前期基本計画の策定における検討の貴重な参考資料として活用していきます。

# 市民ワークショップ 全体概要

- 名称 わたしたちの狭山 未来トーク
- 参加者 42名（一般公募30名・団体推薦12名）
- 分野
  - 1 緑豊かで環境と共生するまち
  - 2 幸せに生き生きと暮らせるまち
  - 3 快適な都市空間を形成するまち
  - 4 活力のある産業を育てるまち
  - 5 人を育み文化を創造するまち
  - 6 安全で安心して暮らせるまち

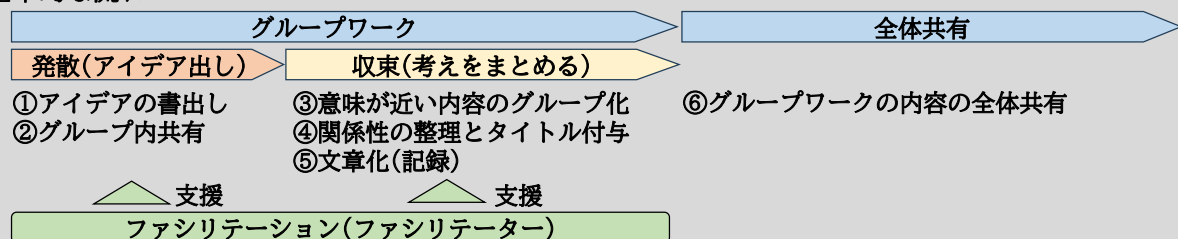
## ■ 日程

回	日時	会場	検討テーマ
第1回	令和6年6月29日（土） 10:00～12:00	狭山市役所 6階会議室	・狭山市の「お宝」とは？
第2回	令和6年7月13日（土） 10:00～12:00	狭山市役所 6階会議室	・分野別の「理想の姿」とは？ ・実現に向け私たちができることは？
第3回	令和6年7月27日（土） 10:00～12:00	狭山市役所 6階会議室	・緑と健康で豊かな文化都市とは？ ～まち全体の「理想の姿」～
第4回	令和6年8月24日（土） 10:00～12:00	狭山市役所 6階会議室	・検討結果の振り返り ・手に取りたくなる総合計画とは？

## ■ ワークの進め方

- ・参加者が分野を単位とした6つのグループに分かれ、各回に設定した検討テーマについて、ワークショップ形式で話し合った。
- ・各回のワークショップは、ブレインストーミング（※1）とKJ法（※2）を組み合わせ、市職員によるファシリテーションの下で実施した。

### ※基本的な流れ



- ※1 1950年代に米国の実業家アレックス・F・オズボーンが考案したとされる会議形式で、集団が課題をめぐって自由に意見を出し合い、相互作用の連鎖反応や発想の誘発を通じて独創的なアイデアを引き出す集団思考法。ビジネスの他、教育等の様々な分野で幅広く応用される。
- ※2 文化人類学者の故・川喜田二郎氏がデータをまとめるために考案した手法であり、データをカード(ラベル)に記述し、グループごとにまとめて図解し、文章の形式にまとめていく。共同での作業にもよく用いられ、創造性開発(創造的問題解決)に効果があるとされる。

## 第1回市民ワークショップ 開催概要

- 日 時 令和6年6月29日(土) 10:00~12:00
- 会 場 狭山市役所 6階会議室
- 出席者 40名
- プログラム

時間	項目	内容
10:00~10:05	開会	▶ 開会・趣旨説明・諸連絡
10:05~10:15	市長挨拶	▶ 市長挨拶
10:15~10:30	写真撮影	▶ グループごとに記念写真
10:30~10:45	総合計画の説明	▶ 総合計画と狭山市の現状 ▶ 各分野(まちづくりの柱)の概要
10:45~10:50	目標と進め方の説明	▶ 市民ワークショップの目標と進め方 ①市民会議の目的 ②参加者の役割 ③第1回市民ワークショップの進め方
10:50~11:55	グループワーク	分野ごとの「 <u>狭山市のお宝(魅力・強み)</u> 」について ①自己紹介 ②プレスト ▶ 参加者が分野において「お宝」だと感じることを抽出 ③意見の整理 ▶ ファシリテーターを中心にKJ法で内容を整理してキーワードを検討
11:55~12:00	閉会	▶ 次回の市民ワークショップについて案内・閉会

### ■ 開催概要

- ・事務局(企画課)から、職員の紹介と総合計画の概要、狭山市の重点的取組、人口と財政の現状について説明した。
- ・4回の市民ワークショップでの意見等については、第5次狭山市総合計画における将来像やまちづくりの基本理念の検討に活用することを説明した。
- ・分野ごとの6グループに分かれ、第2回市民ワークショップの検討テーマ(分野別の理想の姿)につなげるための基礎的情報となる「現状の狭山市の魅力やお気に入りのコトや場所」についてキーワードを抽出し全体共有を行った。

# グループ1

## 分野：緑豊かで環境と共生するまち

### SDGs

交換会   リサイクル   リサイクルプラザ  
電気自動車   水素自動車   脱炭素への取組  
地域の資源を活かす

### 住みやすさ

空気が綺麗   自然災害が少ない   散歩道  
都心に近い

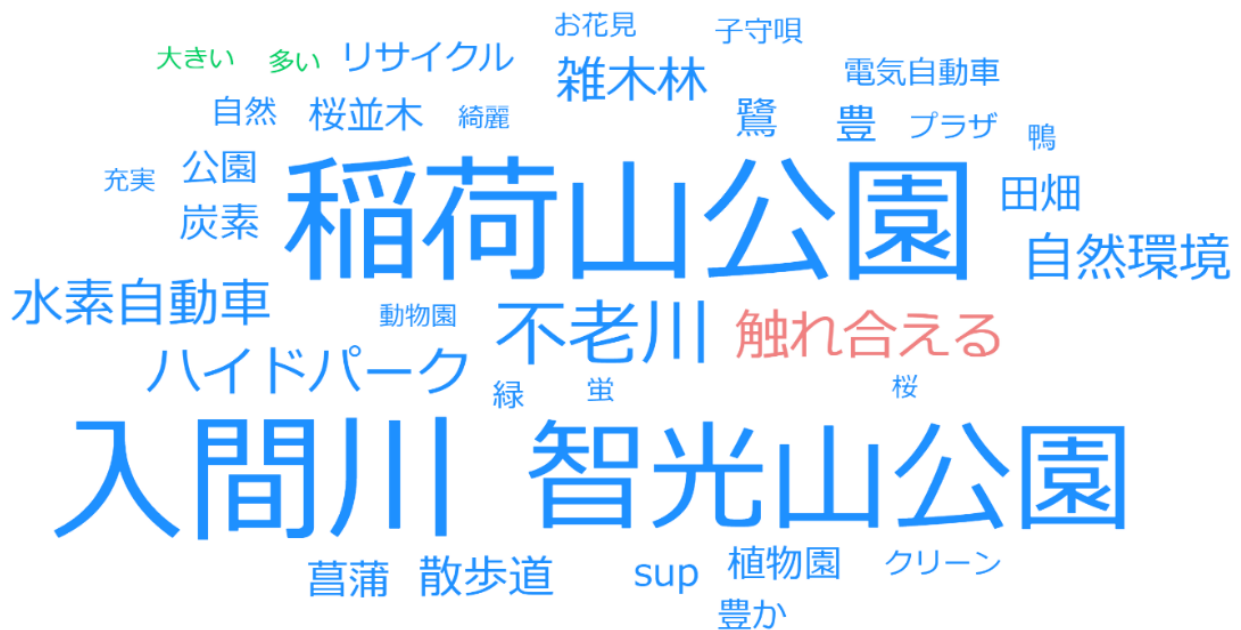
### 人の魅力

入間川クリーン作戦   さやまちよこっとなび  
不老川をきれいにする会  
こどもの登下校の見守り   地域の方々

### 自然・緑

入間川   綺麗な川   SUP   智光山公園  
稲荷山公園   植物園   菖蒲園   雑木林  
自然に触れ合える   桜並木   桜   鴨   蛭  
不老川   自然豊か   お花見   自然   鷺  
田畑が多い   緑が多い   公園充実   季節

### ■ ワードクラウドによる主要なワード



▶ ワークショップの中で出現頻度が高かったワードは「稲荷山公園」「入間川」「智光山公園」など

## グループ2

分野：幸せに生き生きと暮らせるまち

### 地域力

地域で支えあう組織

地域の仲間

### 高齢者

買い物支援

ノルディック

高齢者・子供の架け橋

介護施設

### 医療

病院が身近

救急

予防接種

ワクチン接種の予約のしやすさ

医療費無償化(高校生まで)

ワクチン接種対応が柔軟

### 児童・子育て

青い実学園

子育て支援

ファミサポ

ちゃっぼ

動物園

夏祭り

児童館

プラネタリウム

遊び場

図書館

博物館

子育てアプリ

子供が元気

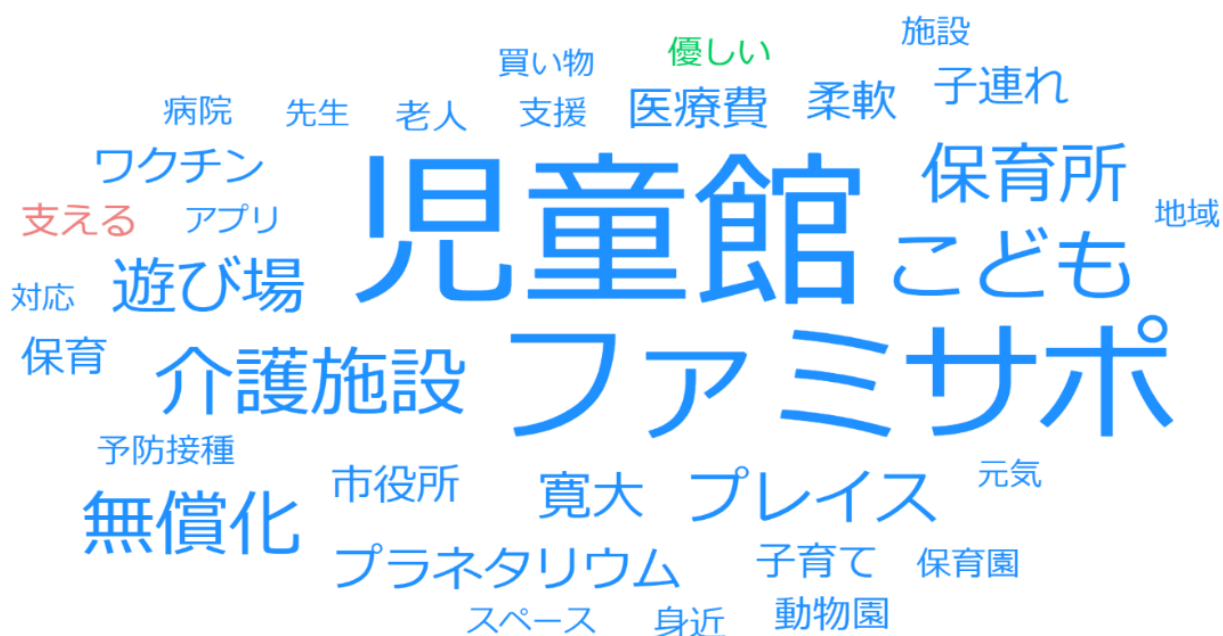
子供に優しい

子供に寛大

保育園の先生が優しい

市役所に保育スペース

### ■ ワードクラウドによる主要なワード



▶ ワークショップの中で出現頻度が高かったワードは「児童館」「ファミサポ」など

## グループ3

### 分野：快適な都市空間を形成するまち

#### 生活環境

住環境が良い 家と家の距離 時間がゆったり  
雨が少ない 日当たりが良い 静か 田舎

#### 自然環境

景色が綺麗 のどか 富士山が見える  
広い公園が多い 夕日が綺麗 公園

#### 水辺環境が良い

水辺環境が良い 川の音が良い 自転車道  
入間川の水辺空間 入間川にここにテラス  
川沿いの道 河川敷 用水路

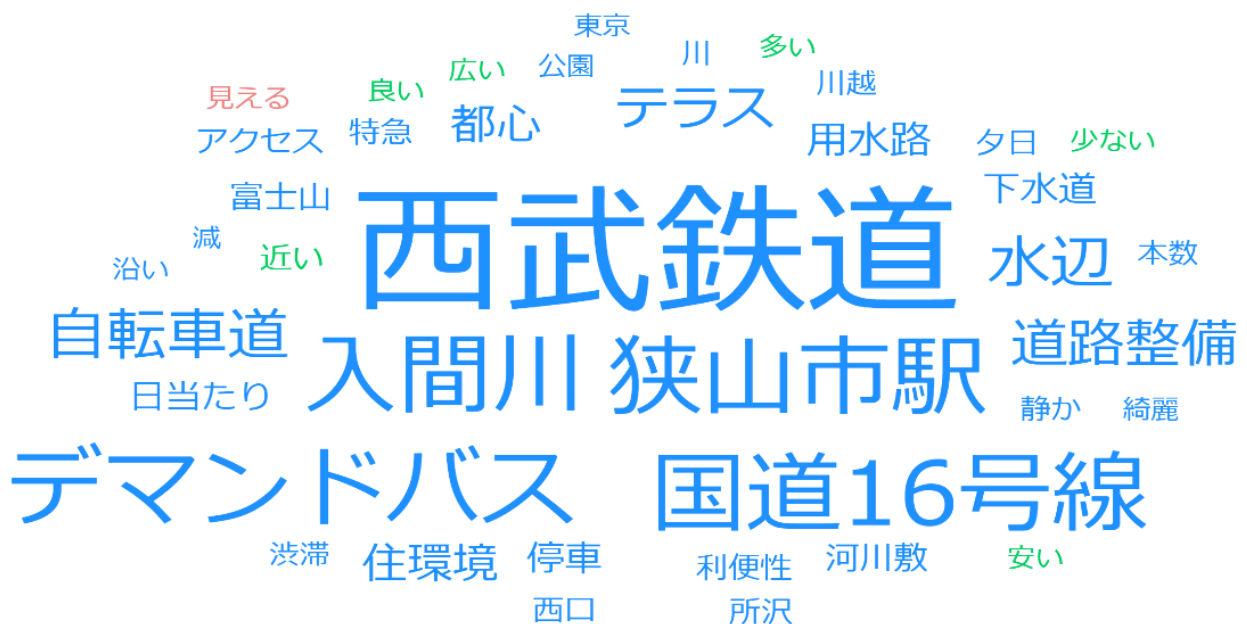
#### 交通の便が良い

交通の便が良い 都心に近い 特急停車  
西武鉄道が便利 西武鉄道が安い  
電車本数増 バスの利便性 渋滞しない  
国道16号線の渋滞減 川越と所沢に近い  
アクセスの良さ

#### その他

狭山市駅西口 デマンドバス 下水道の普及  
駅が綺麗 道路整備

#### ■ ワードクラウドによる主要なワード



▶ ワークショップの中で出現頻度が高かったワードは「西武鉄道」「入間川」「狭山市駅」「デマンドバス」「国道16号線」など

## グループ4

分野：活力のある産業を育てるまち

### 商業

お店が多い 美味しい店

個性的な店が多い 安い

キッチンカー カフェ

### 工業

大企業 工場が多い

工業団地 企業の多さ

工業出荷額県内No.1

### イベント

新狭山マーケット マルシェ

七夕まつりの花火 お祭り

入間川七夕まつり 魅力的

キャンドルナイト

### 農業

野菜が新鮮 有機野菜 無人販売所 狭山茶 里芋

家庭菜園 狭山茶が美味しい 野菜が美味しい 農業

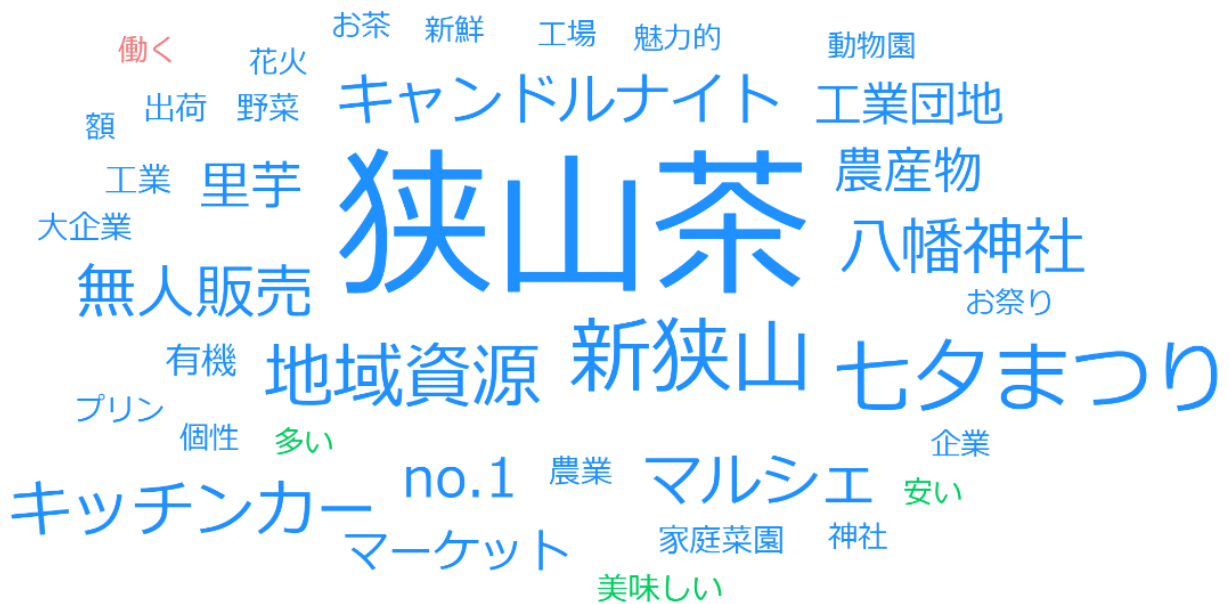
農産物

### その他

八幡神社 地域資源 神社

狭山茶プリン 動物園

#### ■ ワードクラウドによる主要なワード



▶ ワークショップの中で出現頻度が高かったワードは「狭山茶」「七夕まつり」「キッチンカー」「マルシェ」「無人販売」など



## グループ6

分野：安全で安心して暮らせるまち

### 治安・災害

災害が少ない

昔から住んでいる人が多い

治安がいい

地盤が固い

防災無線

### イベント

夏祭り

### その他

男女共同参画

市民交流センター

活躍している方が多い

やりたいことを  
自分たちで創出

### 地域活動

自治会の登下校の見守り

自治会が優しい

近所との繋がり

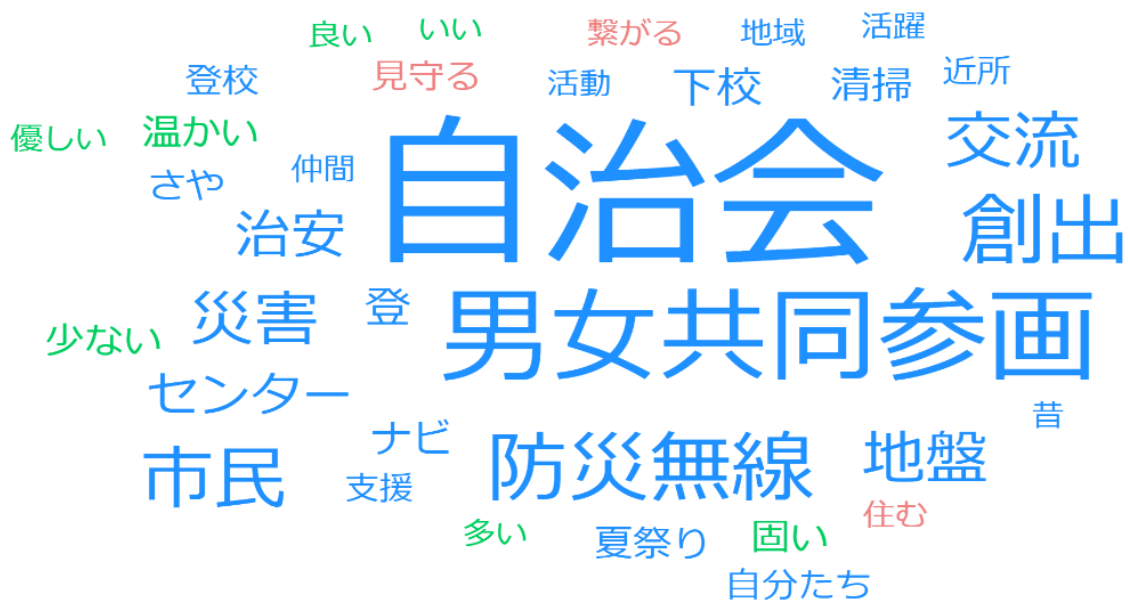
自治会の清掃活動

温かい近所

地域の仲間

さやまちよこっとなび

### ■ ワードクラウドによる主要なワード



- ▶ ワークショップの中で出現頻度が高かったワードは「自治会」「男女共同参画」「創出」「防災無線」「市民」など

## 第2回市民ワークショップ 開催概要

- 日時 令和6年7月13日(土) 10:00~12:00
- 会場 狭山市役所 6階会議室
- 出席者 41名
- プログラム

時間	項目	内容
10:00~10:03	開会	▶ 開会・諸連絡
10:03~10:08	ふり返り	▶ 第1回市民ワークショップの結果の全体共有
10:08~10:13	施策内容の確認	▶ 各分野の施策内容の確認
10:13~10:17	目標と進め方の説明	▶ 市民ワークショップの目標と進め方 ①市民会議の目的 ②参加者の役割 ③第2回市民ワークショップの進め方
10:17~10:25	アイスブレイク	▶ アイスブレイク「実はちょっと自慢できること」
10:25~11:25	グループワーク	<u>分野ごとの「理想の姿」について</u> ①プレスト ▶ 参加者が分野における理想の姿につながるワードを抽出 ②意見の整理と理想的な姿のフレーズ検討 ▶ ファシリテーターを中心にKJ法で内容を整理して「理想の姿」を表すフレーズを検討
11:25~11:45	全体共有	▶ 各グループで検討した結果の全体共有
11:45~11:57	個人作業	<u>理想の姿の実現に向けて私ができること</u> ▶ 普段の生活において自分ができ行動を検討
11:57~11:59	総括	▶ 市民ワークショップ全体のまとめ
11:59~12:00	閉会	▶ 次回の市民ワークショップについて案内・閉会

### ■ 開催概要

- ・ 第1回市民ワークショップの検討結果を踏まえ、分野ごとの6グループにおいて理想のイメージを構成するワードの抽出・整理を行ったうえで、「理想の姿」を表すフレーズを検討し全体共有を行った。
- ・ 検討した「理想の姿」の実現に向けて、家庭や仕事、学校などの普段の生活において、参加者各自が主体的にできる行動について検討した。

## グループ1

### 分野：緑豊かで環境と共生するまち

#### ■ 「理想の姿」を表すフレーズ

- ・ 都心と山間部の中間地 いやしの空間 狭山
- ・ 憩いの場 茶レンジ入間川
- ・ 時を忘れて環境を考えるまち 狭山
- ・ 人や企業が集まる緑豊かなまち 狭山
- ・ 生き物豊かな入間川と緑地広がる中で地域の資源を生かすまち 狭山
- ・ 四季を楽しみ、富士山を見ながら緑の中を歩いて長生き
- ・ 食べられる入間川 安全、バス、フナ、あゆ（そのくらいきれいに）



- ▶ グループの主なタイトル
- 「川」
  - 「畑」
  - 「透明度・明るい」
  - 「住みたくなる町」
  - 「環境」
  - 「将来」
  - など

#### ■ 「理想の姿」の実現に向けて私ができること

- ・ 部屋の電気はこまめに消し使っていない部屋の電気はつけない
- ・ 食品の食べ残しが無いように分量を考えて調理する
- ・ ゴミを分別して廃棄するものと資源にまわすものをはっきりさせる
- ・ 地産地消に取り組む
- ・ 近距離は自転車移動で買い物や用事を済ます
- ・ 次世代へ自然の豊かさを守る考えを教える
- ・ 出来る限り水筒を持参する
- ・ 家でグリーンカーテンに取り組む
- ・ ゼロカーボンに向けた取り組みに積極的に関わっていく

## グループ2

### 分野：幸せに生き生きと暮らせるまち

#### ■ 「理想の姿」を表すフレーズ

- ・ 隣の人とささえあえるまち
- ・ 若い人が活躍できるまち 若い力がかがやくまち
- ・ 多様性の中で支えあえるまち
- ・ 自分らしく暮らせるまち
- ・ 病気がコワくないまち
- ・ タテ・ヨコが気軽につながれるまち
- ・ トイレのキレイなまち
- ・ 買い物・医療が整ったまち
- ・ ココロが健康なまち



- ▶ グルーピングの主なタイトル
- 「アクティビティー」
  - 「子育て」
  - 「トイレ大事」
  - 「買い物」
  - 「医療」
  - 「ネットワーク」
  - 「高齢者」
  - 「住みやすい」
  - など

#### ■ 「理想の姿」の実現に向けて私ができること

- ・ 自治会の行事などに出来るだけ参加して他世代との交流やつながりを持つ
- ・ こどもや高齢者など困っている人がいたら声をかける
- ・ ボランティア活動に積極的に参加する
- ・ 近隣住民とあいさつだけでなく少し話してみる
- ・ 子供たちに「地域にすむ人」の姿をたくさん見せる
- ・ 地域の活動に友達を誘って若い人が多く参加するようにする。
- ・ 子ども食堂の展開を強化する
- ・ 若い力を活用して「多様性」を活かしたイベントを主催する
- ・ どんなことでも「他人事」にしてしまわない

## グループ3

### 分野：快適な都市空間を形成するまち

#### ■ 「理想の姿」を表すフレーズ

- ・ 全世代の多種多様なニーズに対応できる生活環境が整備されているまち
- ・ 子供からお年寄りまで死角や夜道でも安心・安全に行き来できるまち
- ・ 老若男女が気軽にお出かけしたくなる魅力あるまち



#### ▶ グループの主なタイトル

- 「駅前」
- 「都市空間」
- 「都市機能」
- 「緑地バランス」
- 「安心」
- 「安全」
- 「安定」
- など

#### ■ 「理想の姿」の実現に向けて私ができること

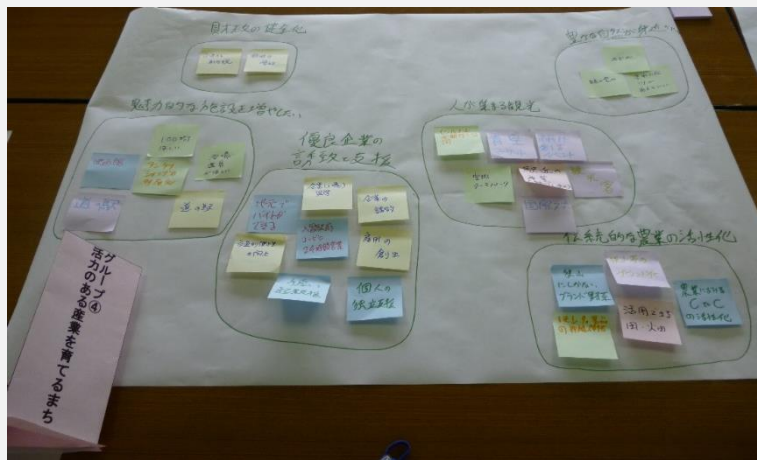
- ・ バスを使って移動する
- ・ 交通ルールを守って安全運転を心掛ける
- ・ 道路の視界を良くするために定期的に垣根の手入れをする
- ・ 日頃から災害等への危機感を持って視野を広くする
- ・ 危険な場所などがあれば行政に情報を提供する
- ・ 危険な場所を認識して見守りボランティアに参加する
- ・ 安心・安全のために近所の方とのあいさつや交流を行う
- ・ さやまアプリをインストールして常に通知をオンにしてアンテナを立てておく
- ・ SNSを駆使して狭山の魅力を友人や同僚に情報発信する

## グループ4

### 分野：活力のある産業を育てるまち

#### ■ 「理想の姿」を表すフレーズ

- ・ 魅力あふれる人と企業が安心して生活できる緑豊かなまち



- ▶ グループの主なタイトル  
「財政健全化」  
「魅力的な施設を増やしたい」  
「優良企業の誘致と支援」  
「人が集まる観光」  
「豊かな自然が身近にある」  
など

#### ■ 「理想の姿」の実現に向けて私ができること

- ・ 商店街の経営者と協力して狭山の農業や商業を盛り上げていく
- ・ イベントやマーケットなど人を集める事業を実施する
- ・ 狭山にある企業について興味を持つ
- ・ 今ある店舗をなくさない為に日頃から利用する
- ・ 利用したことがない店舗にも積極的に入ってみる
- ・ 農家として独立する
- ・ 地元野菜を購入する
- ・ 地域のイベントに参加して盛り上げる
- ・ 狭山の情報をSNS等でアップしていく

## グループ5

### 分野：人を育み文化を創造するまち

#### ■ 「理想の姿」を表すフレーズ

- ・ お茶のまち、狭山で人々と交流を深めたいくなるまち
- ・ 体験が思い出になり戻ってきたいくなるまち
- ・ 文化と異文化をすきになるまち
- ・ お茶の思い出があるまち
- ・ 勉強とスポーツと文化が楽しめるまち
- ・ お茶文化がある国とつながるまち



- ▶ グルーピングの主なタイトル
- 「文化を知り、強みに」
  - 「地域行事×教育」
  - 「安全な通学路」
  - 「スポーツに参加したいくなる」
  - 「行きたいくなる図書館」
  - 「異文化交流」
  - など

#### ■ 「理想の姿」の実現に向けて私ができること

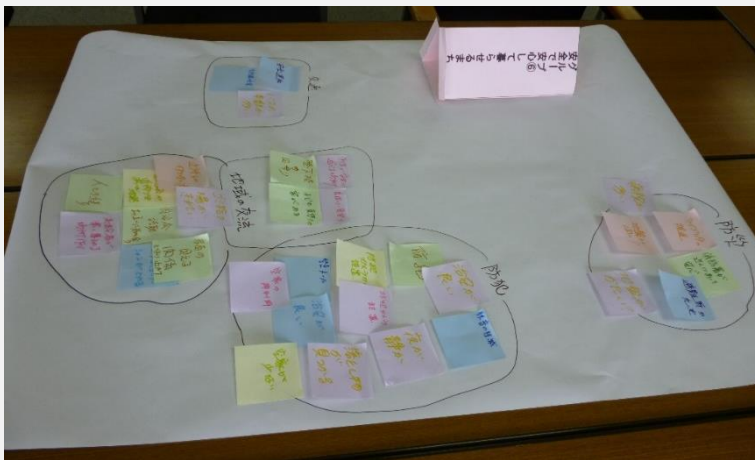
- ・ 狭山茶の文化を多くの人に伝えていけるように勉強する
- ・ 運動と観察を兼ねて街中を走ってみる
- ・ 市内で開催されるスポーツイベントに参加してみる
- ・ 図書館に友人と勉強しに行く
- ・ さやまちょこっとなびのインスタを見る
- ・ 家庭でこどもたちに文化に興味を持ってもらう
- ・ 異文化についてその違いやつながりを調べる
- ・ 文化イベントに家族で参加して交流する
- ・ 狭山茶をたくさん飲む

## グループ6

### 分野：安全で安心して暮らせるまち

#### ■ 「理想の姿」を表すフレーズ

- ・ みんなの顔が見えるつながりで支え合うまち
- ・ 誰もとり残されないまち
- ・ 地域の「きずな」を未来につなげるまち
- ・ 希望をはぐくむアットホームなまち



- ▶ グルーピングの主なタイトル
- 「防災」
  - 「防犯」
  - 「地域の交流」
  - 「交通」
  - など

#### ■ 「理想の姿」の実現に向けて私ができること

- ・ 交流がなくても近所の人とのあいさつやコミュニケーションを積極的にとる。
- ・ お互いに助け合う気持ちを持つ。
- ・ 地域のイベントや行事への参加や手伝いをする。
- ・ 登校するこどもたちや遊んでいるこどもたちを見守る。
- ・ SNS等で防災情報を発信する。
- ・ 近隣の一人暮らしの人が元気か気に掛けておく。
- ・ 防災訓練や救命講習に参加する。
- ・ 祖父母との交流を大切にする。
- ・ 家では防犯として留守電にしておく。

## 第3回市民ワークショップ 開催概要

- 日時 令和6年7月27日(土) 10:00~12:00
- 会場 狭山市役所 6階会議室
- 出席者 37名
- プログラム

時間	項目	内容
10:00~10:05	開会	▶ 開会・諸連絡・将来像の説明
10:05~10:12	ふり返り	▶ 第2回市民ワークショップの結果の全体共有
10:12~10:17	目標と進め方の説明	▶ 市民ワークショップの目標と進め方 ①市民会議の目的 ②参加者の役割 ③第3回市民ワークショップの進め方
10:17~10:25	アイスブレイク	▶ アイスブレイク「狭山でのとっておきの思い出」
10:25~11:35	グループワーク	「 <u>緑と健康で豊かな文化都市</u> 」が表す姿について ①プレスト ▶ 参加者が狭山市の理想的な姿を構成する「緑」「健康」「豊か」「文化」につながるワードを抽出 ②ラウンドウォーク ▶ 他のグループの検討内容を自由に確認 ③意見の整理と理想的な姿のフレーズ検討 ▶ ファシリテーターを中心にKJ法で内容を整理して「緑」「健康」「豊か」「文化」を表すフレーズを検討
11:25~11:45	全体共有	▶ 各グループで検討した結果の全体共有
11:57~11:59	総括	▶ 市民ワークショップ全体のまとめ
11:59~12:00	閉会	▶ 次回の市民ワークショップについて案内・閉会

### ■ 開催概要

- ・事務局（企画課）から、将来像の位置づけと現行の将来像「緑と健康で豊かな文化都市」について説明した。
- ・6グループにおいて将来像を構成する「緑」「健康」「豊か」「文化」のそれぞれについて、理想のイメージを構成するワードの抽出・整理を行ったうえで、「理想の姿」を表すフレーズを検討し全体共有を行った。

## グループ1

### ■ 「緑」を表すフレーズ

---

- ・ 第3の軽井沢を目指して「埼玉の避暑地」なまち
  - ▶ 「第3」とは、ひかえめ、やさしい狭山人をイメージ
- ・ オオタカと住むまち
  - ▶ オオタカの森の拡大、雑木林を増やし生きものを増やす

### ■ 「健康」を表すフレーズ

---

- ・ 「動・食・茶」のまち
- ・ 気軽に運動できるまち
  - ▶ 狭山市は運動が出来る場所が多い

### ■ 「豊か」を表すフレーズ

---

- ・ 世代を超えて取り残されないやさしいまち
  - ▶ 心の豊かさ、高齢者、子ども、障がい者を取り残さない意味を込めた
- ・ SDGsの狭山人

### ■ 「文化」を表すフレーズ

---

- ・ 歴史がつながり、新しい文化を創造するまち
- ・ 芸術の創造、伝統の継承のまち
- ・ 歴史と今を共有できるまち

## グループ2

### ■ 「緑」を表すフレーズ

---

- ・ 循環型社会で自然と共存・共生できるまち
  - ・ トイレがキレイで癒されるまち
  - ・ 自然があふれ癒されるまち
- ▶ キーワードは自然、共存、共生

### ■ 「健康」を表すフレーズ

---

- ・ ココロとカラダが健康で病気がこわくないまち
  - ・ みんなが安心して主役になれるまち
  - ・ 医療を身近に感じられるまち
- ▶ キーワードはココロ、カラダ、健康、安心、主役

### ■ 「豊か」を表すフレーズ

---

- ・ 暮らしやすく働きかたが選べるまち
  - ・ 世界から選ばれるまち
  - ・ 暮らしの便利にあふれたまち
- ▶ キーワードは暮らしやすい、便利、世界的企業

### ■ 「文化」を表すフレーズ

---

- ・ 身近にワクワクがあるまち（イベント）
  - ・ おなかもココロも満足するまち（特産品）
  - ・ 思いやりにあふれ手を取りあえるまち（つながり）
- ▶ キーワードはワクワク、手を取り合える、つながりを大事にする

## グループ3

### ■ 「緑」を表すフレーズ

---

- ・ 触れ合えるキレイな「緑」を身近に楽しめるまち
  - ▶ みどりは放っておくと逆に汚い印象を与えるので手入れが必要
  - ▶ 使われていない公園の遊具を一新して適切な手入れを

### ■ 「健康」を表すフレーズ

---

- ・ 皆が健康に気づかえる心身・イキイキした人であふれるまち
  - ▶ 働く人や年配の方がデジタル格差が無く暮らせ、忙しくても受診できるように気遣い出来る人であふれるようになりたい

### ■ 「豊か」を表すフレーズ

---

- ・ 安心して人が集まれるまち
- ・ にぎわいの拠点があるまち
  - ▶ シャッター街などが再びにぎやかになり、駅前や、市全体がにぎわっていると良い

### ■ 「文化」を表すフレーズ

---

- ・ 伝統文化を守りつつ新しい文化や芸術に触れられるまち
  - ▶ 伝統文化、七夕まつりなどを守っていきたい
- ・ 狭山市に住んでいると自慢できるまち
  - ▶ どこに住んでいるのか聞かれたときに、市外や県外の人に自信を持って言えるようになりたい

## グループ4

### ■ 「緑」を表すフレーズ

---

#### ・自然と暮らしの調和がとれたまち

- ▶ 自然と建物のバランスが良かったり、きれいな入間川があったり、緑豊かな公園等の自然と実際にそこで暮らす自分たちの暮らしの調和がとれたまちを創造していきたい

### ■ 「健康」を表すフレーズ

---

#### ・元気ハツラツ！安心・安全なまち

- ▶ 狭山市は医療が充実しており、みんなが元気で暮らしていきたい
- ▶ 公園や自然で子供たちがワイワイ遊ぶ安全安心の遊び場になって欲しい

### ■ 「豊か」を表すフレーズ

---

#### ・笑顔あふれるふるさと自慢のまち

- ▶ 商業・農業・工業と、働いている人が笑顔があふれており、自慢できるものや、商業の活力がふるさと自慢につながる

#### ・人がつながる心豊かなまち

- ▶ コミュニケーションで心豊かなまちをめざす

### ■ 「文化」を表すフレーズ

---

#### ・みんなの力を合わせてにぎわいをつくるまち

- ▶ 伝統を活かしつつ、新たなイベントを市民の力で創りあげ、にぎわいをつくりあげていく

## グループ5

### ■ 「緑」を表すフレーズ

---

- ・人も生物も集まるまち
- ・公園が自慢できるまち
- ・全世代が集まる憩いの公園があるまち
  - ▶ 身体が不自由な子どもでも遊べる遊具が設置され、高齢者も含め交流ができるようになればよい

### ■ 「健康」を表すフレーズ

---

- ・いつまでも心身共に若くいられるまち
  - ▶ いつまでも心身若くいられれば、高齢になっても楽しく健康的にいられるまちになる
- ・スポーツを通じて若者が集まるまち
  - ▶ スポーツで若者が集まれば定着に繋がる

### ■ 「豊か」を表すフレーズ

---

- ・歩くのが楽しくなるお茶とコーヒーの香るまち
  - ▶ 歩きながらお茶やカフェがあふれるまちになれば楽しく、それが心の豊かさに繋がる

### ■ 「文化」を表すフレーズ

---

- ・お茶と音楽があふれるまち
  - ▶ 文化的な、お茶と音楽があふれるまちになればよい

## グループ6

### ■ 「緑」を表すフレーズ

---

- ・ 未来に残そう里山の自然
- ・ 遊びいっぱい入間川
- ・ 野菜が元気、身体も元気なまち
  - ▶ 狭山市の中で入間川や武蔵野の森など、豊かな自然を未来に残したい

### ■ 「健康」を表すフレーズ

---

- ・ みんな元気なまち
- ・ 医療の充実で安心・安全なまち
- ・ 狭山の野菜で伸ばせ健康寿命
  - ▶ ただ寿命が延びるだけではなく、元気なまま寿命が延びることを重視して、最終的にはみんなが病院に行かないくらい元気になればよい

### ■ 「豊か」を表すフレーズ

---

- ・ 持続可能な豊かなまち
- ・ 豊かな人間関係が築けるまち
- ・ こどもの笑い声があふれるまち
  - ▶ 経済が豊かになることで社会全体が豊かになれるという考えと、こどもの笑い声で人間関係やつながりが豊かになれる

### ■ 「文化」を表すフレーズ

---

- ・ 未来につながる思い出作りが出来るまち
- ・ みんなでつなごう伝統芸能
  - ▶ 祭りやお囃子など、現在残っている文化を未来に残したい

## 第4回市民ワークショップ 開催概要

- 日時 令和6年8月24日(土) 10:00~12:00
- 会場 狹山市役所 6階会議室
- 出席者 38名
- プログラム

時間	項目	内容
10:00~10:02	開会	▶ 開会・諸連絡
10:02~10:14	振り返りと総合計画の構成説明	▶ 第3回までの市民ワークショップの結果の振り返りと総合計画の構成の説明
10:14~10:17	目標と進め方の説明	▶ 市民ワークショップの目標と進め方 ①市民会議の目的 ②参加者の役割 ③第4回市民ワークショップの進め方
10:17~10:20	アイスブレイク	▶ アイスブレイク「最近気になる流行」
10:20~11:40	グループワーク	<u>手に取りたくなる総合計画とは</u> ①プレスト ▶ 参加者が総合計画を市民に知ってもらうことでまちに起きる変化を検討・グループ内共有 ～くじ引きによりグループ編成を変更～ ②プレスト ▶ 参加者が多くの市民に総合計画を手にとってもらうための工夫について検討 ③意見の整理と理想的な姿のフレーズ検討 ▶ ファシリテーターを中心にKJ法で内容を整理
11:40~11:55	全体共有	▶ 各グループで検討した結果の全体共有
11:55~12:00	統括・閉会	▶ 市民ワークショップ全体の内容のまとめ・閉会

### ■ 開催概要

- ・事務局（企画課）から、第1回から第3回の市民ワークショップの検討結果を報告するとともに、グループワークの検討テーマ（手に取りたくなる総合計画とは）につなげるための基礎的情報となる総合計画の構成について説明した。
- ・6グループにおいて総合計画を市民に知ってもらうことでまちに起きる変化を検討した後、グループ編成を変更し、総合計画の在り方についてのワードの抽出・整理を行ったうえで、手に取ってもらう工夫を検討し全体共有を行った。

## グループ1

### ■ 総合計画を市民に知ってもらうことでまちに起きる変化

- ・「知る」

総合計画を知ることで、市民は市の実情や他地域の状況を理解し、話題性が広がる

- ・「行動」

総合計画を知ることで、自分の行動が明確になり、日常生活に計画を反映させる動きが促進される

- ・「意見」

知識が広がることで、多くの意見や知恵が集まり、具体的なアイデアが生まれる

- ・「共有」

市民と市が目指す方向性を共有することで、共通の目標に向かって進み、大きな成果が期待される

- ・「コミュニティ」

総合計画を知ることで、人が集まり、共通の目的を持ったコミュニティが形成され、市民の意識が変わる

▶ 関心が高かったテーマ

「市民参加の促進」 「地域コミュニティの形成と拡大」  
「市民意識の変化とまちの変化」 など

## グループ2

### ■ 総合計画を市民に知ってもらうことでまちに起きる変化

- ・「知る」  
総合計画を知ることで、市民は狭山への愛着が増し、狭山に住み続けたいと考えるようになる
- ・「行動」  
総合計画を知ることで、市民一人一人が主体的に行動し、ゴミの減量やリサイクルなどの取組が促進される
- ・「共有」  
総合計画を共有することで、市民全体が目指す方向が明確になり、一体感が生まれる
- ・「コミュニティ」  
総合計画を知ることで、地域のコミュニティが強まり、人々が助け合うまちづくりが進む
- ・「つながり」  
地域のつながりが強化され、挨拶や会話が増え、情報共有が活性化される

- ▶ 関心が高かったテーマ  
「市民の主体性の向上と参加意欲の促進」  
「地域のつながりの強化と情報共有」  
「若い世代の活躍と地域の活性化」など

## グループ3

### ■ 総合計画を市民に知ってもらうことでまちに起きる変化

- ・「知る」  
総合計画を知ることで、市民は市の政策に対する理解が深まり、関心が高まる
- ・「行動」  
総合計画を知ることで、ゴミ減少や地産地消など、より良い狭山市を目指した行動が増加する
- ・「協力」  
総合計画を共有することで、協力者が増え個人で活動している人々の取組も広く認知されるようになる
- ・「意識」  
市民の意識が上がり、普段の生活での行動や市への期待が高まり、結果としてまちが活気づく
- ・「透明性」  
総合計画の透明性が高まり、行政の取組が市民に可視化され、説明責任が求められるようになる

- ▶ 関心が高かったテーマ  
「市民の意識向上と参加促進」「行政の情報発信と透明性の向上」  
「個人の活動支援と協力者の増加」など

## グループ4

### ■ 総合計画を市民に知ってもらうことでまちに起きる変化

- ・「コミュニケーション」  
市民間や市民と行政のコミュニケーションが活性化し、対等な立場で話し合いができるようになる
- ・「意識」  
市民の意識が変わり、自ら問題解決に取り組む姿勢や防災意識が高まる
- ・「愛着」  
狭山市に対する愛着が深まり、人口流出が抑えられ、地元の物を積極的に利用するようになる
- ・「参加」  
市民がイベントやお祭りに積極的に参加し、狭山市の特産物を手に取る機会が増える
- ・「協力」  
市民が協力し合い、自助努力の輪が広がり、住みやすい街を作るための意識が高まる

#### ▶ 関心が高かったテーマ

- 「市民の意識変化と参加意欲の向上」
- 「市民間および市民と行政のコミュニケーションの活性化」
- 「地域への愛着と地元経済の活性化」 など

## グループ5

### ■ 総合計画を市民に知ってもらうことでまちに起きる変化

- ・ 「未来」

総合計画を知ること、未来の狭山市への関心が高まり、自らの手でまちの未来を築こうとする市民が増える

- ・ 「興味」

総合計画を知ること、市民や市外の人々の興味が高まり、施設利用や特産物の消費が促進される

- ・ 「参加」

総合計画に興味を持つことで、地域のイベントや活動に積極的に参加するようになる

- ・ 「親しみ」

総合計画を知ること、まちに対する親しみや地元愛が深まり、住み続けたいと思う人が増える

- ・ 「市民」

総合計画を共有することで、新しい市民が増え、現市民の間でも計画への賛同者が増加する

▶ 関心が高かったテーマ

「若い世代のまちへの関心と将来的な関わり方」

「市民のまちへの興味・関心の向上と参加意欲の高まり」

「まちの将来ビジョンの共有と理解の促進」など

## グループ6

### ■ 総合計画を市民に知ってもらうことでまちに起きる変化

- ・「目標」  
目標が定まることで、市民が同じ方向を向き、具体的な行動が生まれ、まち全体の活性化が期待される
- ・「理解」  
総合計画を知ることで、狭山市の方向性や各分野の課題を理解し、“いいまちにしたい”と思う市民が増える
- ・「参加」  
計画を知ることで、市民が市の活動や地域イベントに積極的に参加するようになり、地域のつながりが強化される
- ・「行動」  
総合計画を知ることで、市民が個々に必要な行動を考え、より良いまちを目指して行動するようになる
- ・「課題」  
総合計画の進捗やうまくいかない点も公表することで、市民が課題を理解し、改善に向けて協力する姿勢が生まれる

#### ▶ 関心が高かったテーマ

「市民の理解促進と参加意欲の向上」

「計画の共有方法と情報発信の工夫」

「PDCAサイクルの徹底と課題の公表」 など

## グループ7 (編成変更後のグループ)

### ■ 多くの市民に総合計画を手にとってもらうための工夫

---

- ・冊子の体裁
- ・分厚い冊子の情報を小出しにしてフィードバックを得る
- ・ケーブルテレビの活用
- ・マンガやアニメ
- ・広報誌
- ・学校教育での活用
- ・スタンプラリー
- ・インターネットを使って発信する
- ・動画チャンネルを活用し、親しみやすく伝える

## グループ8 (編成変更後のグループ)

### ■ 多くの市民に総合計画を手にとってもらうための工夫

---

- ・ 企業との連携
- ・ 駅へのポスター掲示
- ・ SNSや動画で発信
- ・ イベントやゆるキャラの活用
- ・ クーポンで興味を引く
- ・ 学校で学習し、子どもの段階から総合計画に触れる

## グループ9 (編成変更後のグループ)

### ■ 多くの市民に総合計画を手にとってもらうための工夫

---

- ・紙媒体とSNSを併用する
- ・人が集まる場所でアピールする
- ・ワークショップやイベントを開催する
- ・若い世代への教育を行う
- ・進捗状況を定期的に周知する

## グループ10 (編成変更後のグループ)

### ■ 多くの市民に総合計画を手にとってもらうための工夫

---

- ・わかりやすさ、親しみやすさの重視
- ・理解を促進する場の提供
- ・SNS活用
- ・若い世代の教育に重点を置く
- ・漫画や絵本で興味をひく工夫
- ・QRコードの活用
- ・ワークショップなどを通して理解を深める

## グループ11 (編成変更後のグループ)

### ■ 多くの市民に総合計画を手にとってもらうための工夫

---

- ・手に取りやすいデザインの工夫
- ・表紙をポップに
- ・紙も大事
- ・SNSと紙媒体の併用
- ・幼少期からの教育に活用
- ・総合計画の「検定」を導入
- ・クーポンや口コミで広めて狭山市への愛着をはぐくむ

## グループ12 (編成変更後のグループ)

### ■ 多くの市民に総合計画を手にとってもらうための工夫

---

- ・ 概要版にQRコードを付け、SNSやウェブで逆引き可能に
- ・ 身近な地域課題から総合計画に触れられるようにする
- ・ PDCAサイクルを見せ、進捗を明確に
- ・ 学校教育やワークショップを通じて理解を深める
- ・ 職員や市民向けに総合計画の検定試験制度をつくる

## 第5次狭山市総合計画策定市民ワークショップ設置要綱

### (設置)

第1条 第5次狭山市総合計画（以下「次期総合計画」という。）の策定にあたり、市民の意見を広く聴取するため、第5次狭山市総合計画策定市民ワークショップ（以下「市民ワークショップ」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 市民ワークショップは、総合計画の策定に関することについて、意見・情報を交換し合う。

### (組織)

第3条 市民ワークショップは、参加者42人以内で組織する。

2 市民ワークショップの参加者は、次に掲げる者のうちから、市長が選考する。

(1) 無作為に抽出した者で、かつ参加者として応募した者

(2) 各種団体から推薦された者

3 前項の抽出及び推薦は、次のいずれにも該当する者のうちから行うものとする。

(1) 市内に在住又は在勤する者で、令和6年4月1日時点において満18歳以上の者

(2) 国会議員、県議会議員又は市議会議員でない者

### (任期)

第4条 参加者の任期は、市民ワークショップの発足日から報告書の提出日までとする。

### (報償)

第5条 参加者に対しては、報償として、出席した会議1日につき2,000円分の記念品を進呈する。

### (資料の提出等の要求等)

第6条 市民ワークショップは、その所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係職員に対して、資料の提出、説明その他の必要な協力を求めることができる。

### (情報の取扱い)

第7条 参加者は、市民ワークショップの設置趣旨を踏まえ、知り得た情報を適切に取り扱うものとする。

### (報告)

第8条 市民ワークショップは、令和6年8月末日までに、会議の内容について報告を行う。

(庶務)

第9条 市民ワークショップの庶務は、企画財政部企画課において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、市民ワークショップの運営について必要な事項は、市民ワークショップにおいて協議して定める。

附則

この要綱は、令和6年5月1日から施行し、報告書の提出をもって、その効力を失う。